

2022年3月期 第2四半期 決算説明会

ソフトバンク株式会社

2021年11月4日

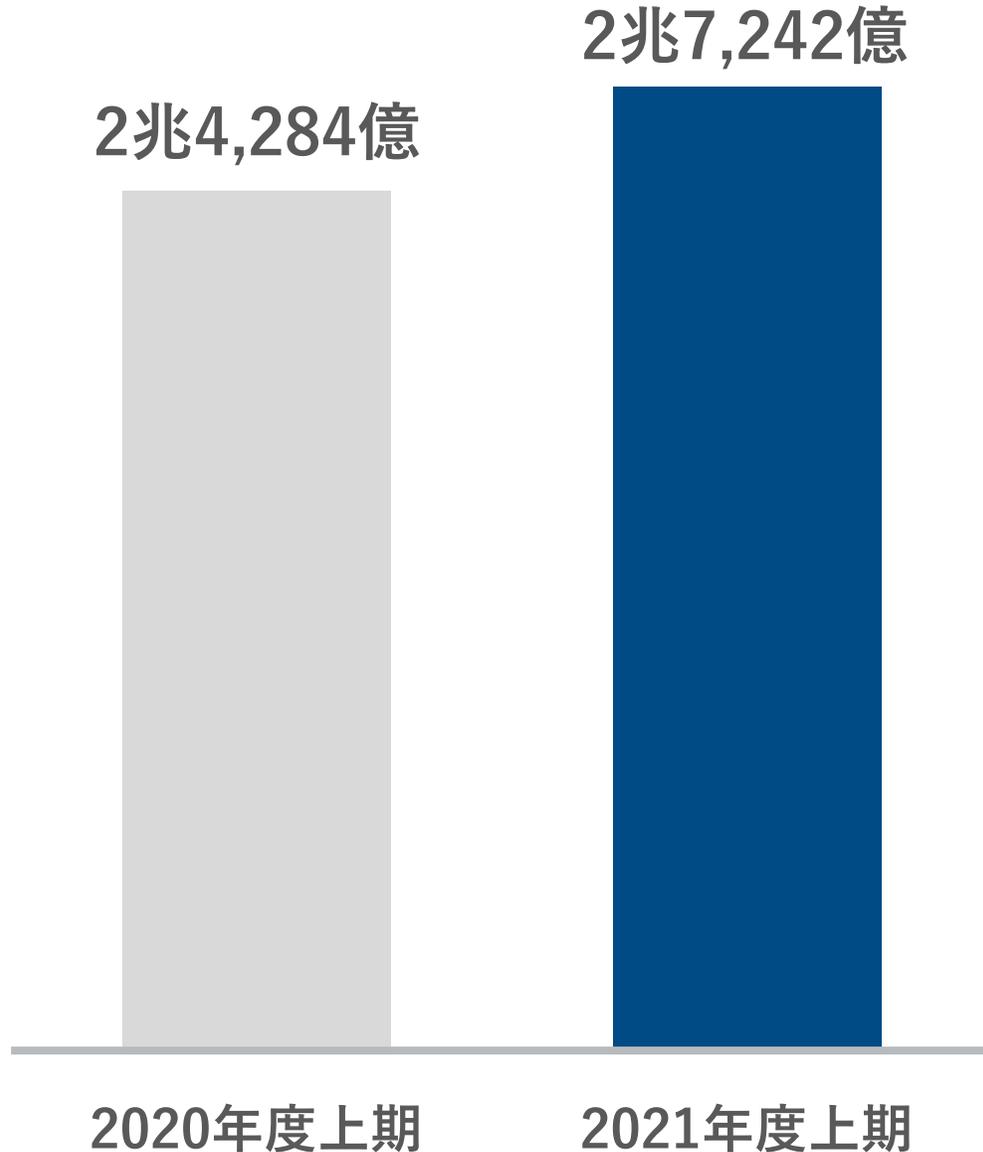
免責事項

本資料に含まれる計画、見通し、戦略その他の将来に関する記述は、本資料作成日時点において当社が入手している情報および合理的であると判断している一定の前提に基づいており、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績などは、経営環境の変動などにより、当該記述と大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

2022年3月期 第2四半期 連結業績

売上高

[円]

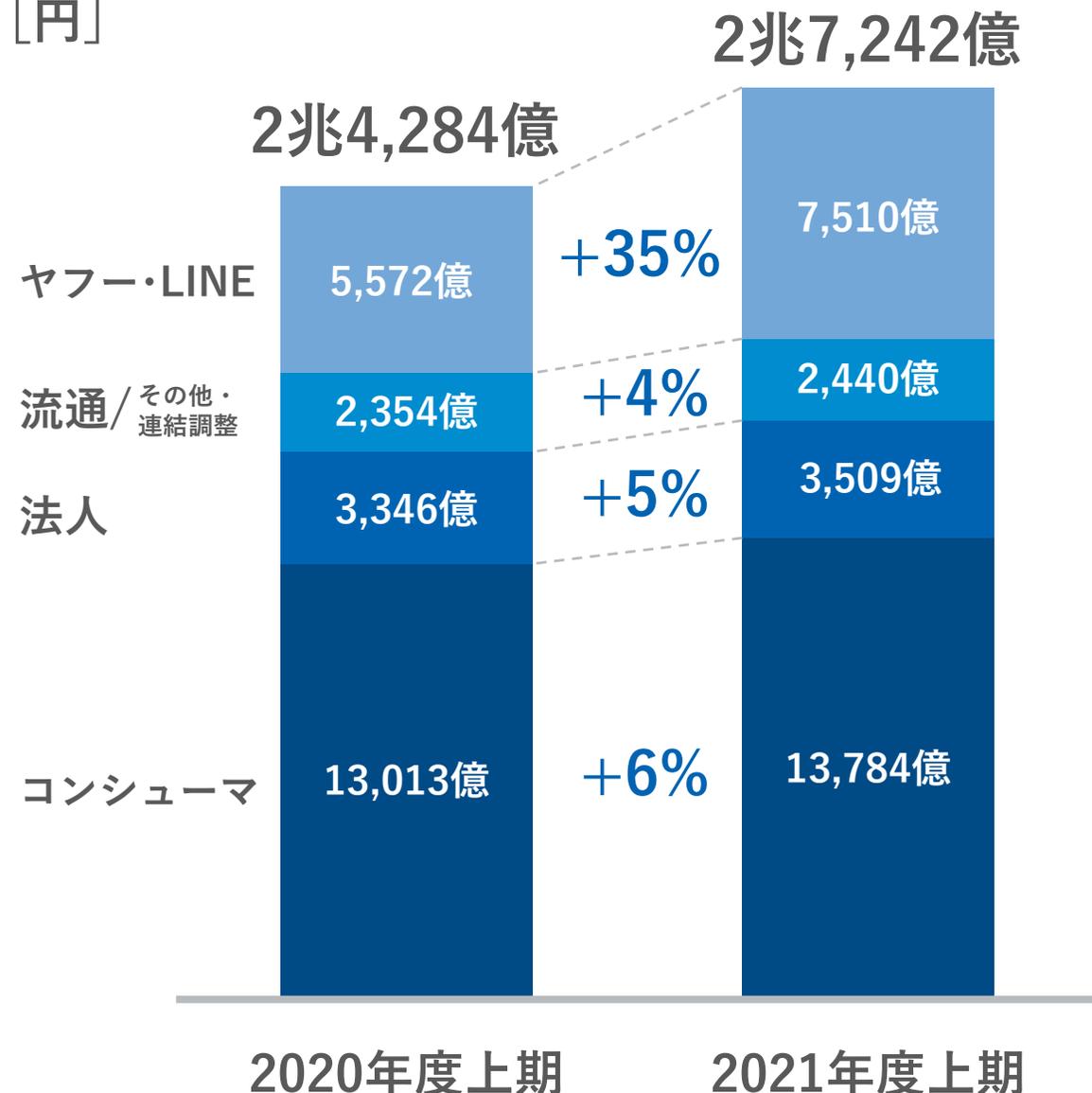


12%増収
半期では過去最高

(注) 本資料において、増減について特に記載のない場合は前年同期比を指します。
また端数処理について、特に記載のない場合は表示単位の小数点第一位を四捨五入しています。

売上高 セグメント別

[円]



全セグメント 増収

営業利益

[円]

5,896億

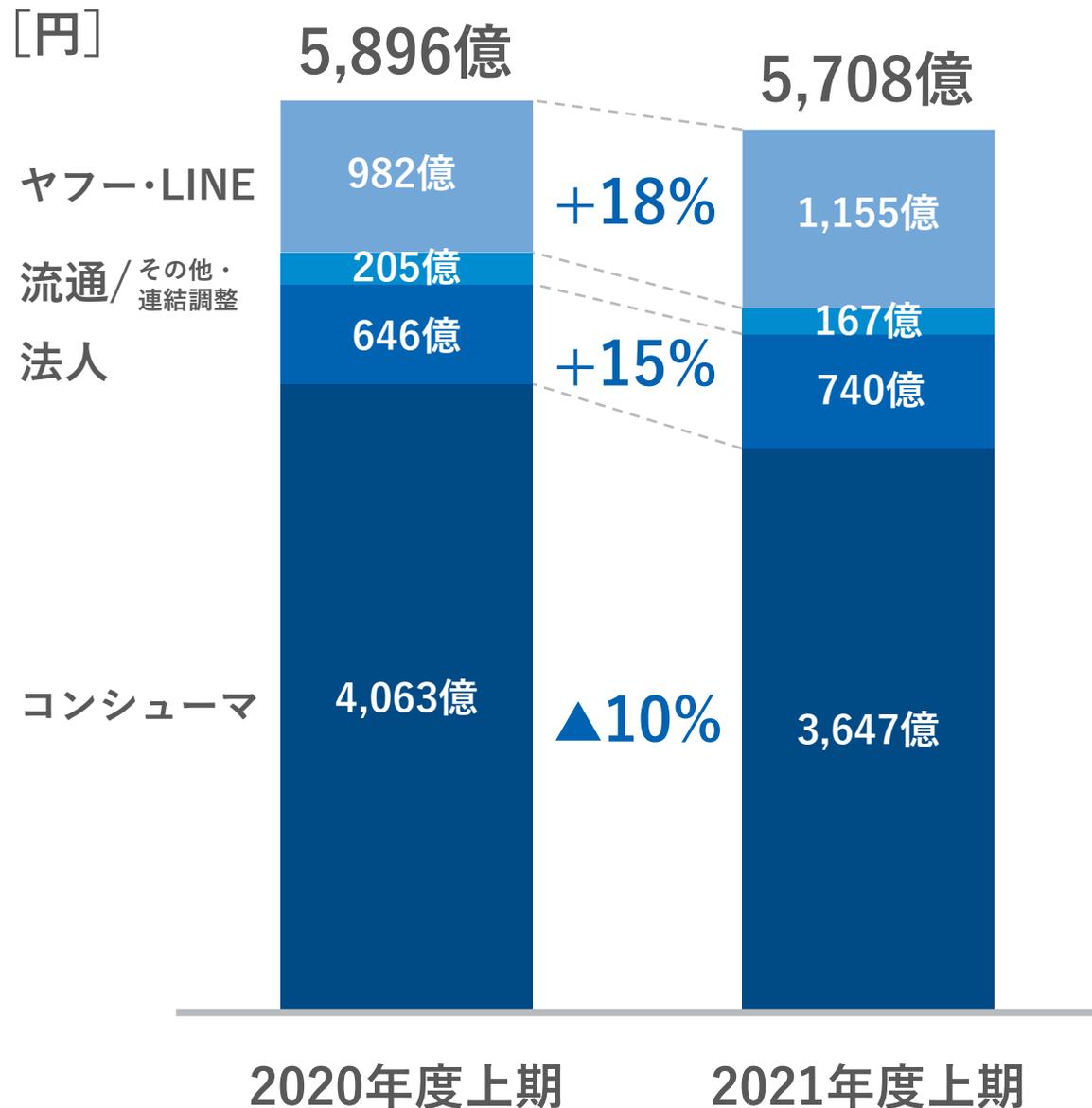
5,708億

2020年度上期

2021年度上期

3%減益

営業利益 セグメント別



通信料値下げ影響の一方
法人とヤフー・LINEが
順調に増益

純利益

[円]

3,151億

3,073億

2020年度上期

2021年度上期

2%減益

2021年度 上期 連結業績

[円]

	2020年度 上期	2021年度 上期	増減	増減率
売上高	2兆4,284億	2兆7,242億	+2,958億	+12%
調整後EBITDA	9,404億	9,464億	+61億	+0.6%
営業利益	5,896億	5,708億	▲188億	▲3%
純利益	3,151億	3,073億	▲78億	▲2%

2021年度 通期業績予想 進捗率

[円]

	2021年度 上期実績	2021年度 通期予想	進捗率
売上高	2兆7,242億	5兆5,000億	50%
調整後EBITDA	9,464億	1兆7,300億	55%
営業利益	5,708億	9,750億	59%
純利益	3,073億	5,000億	61%

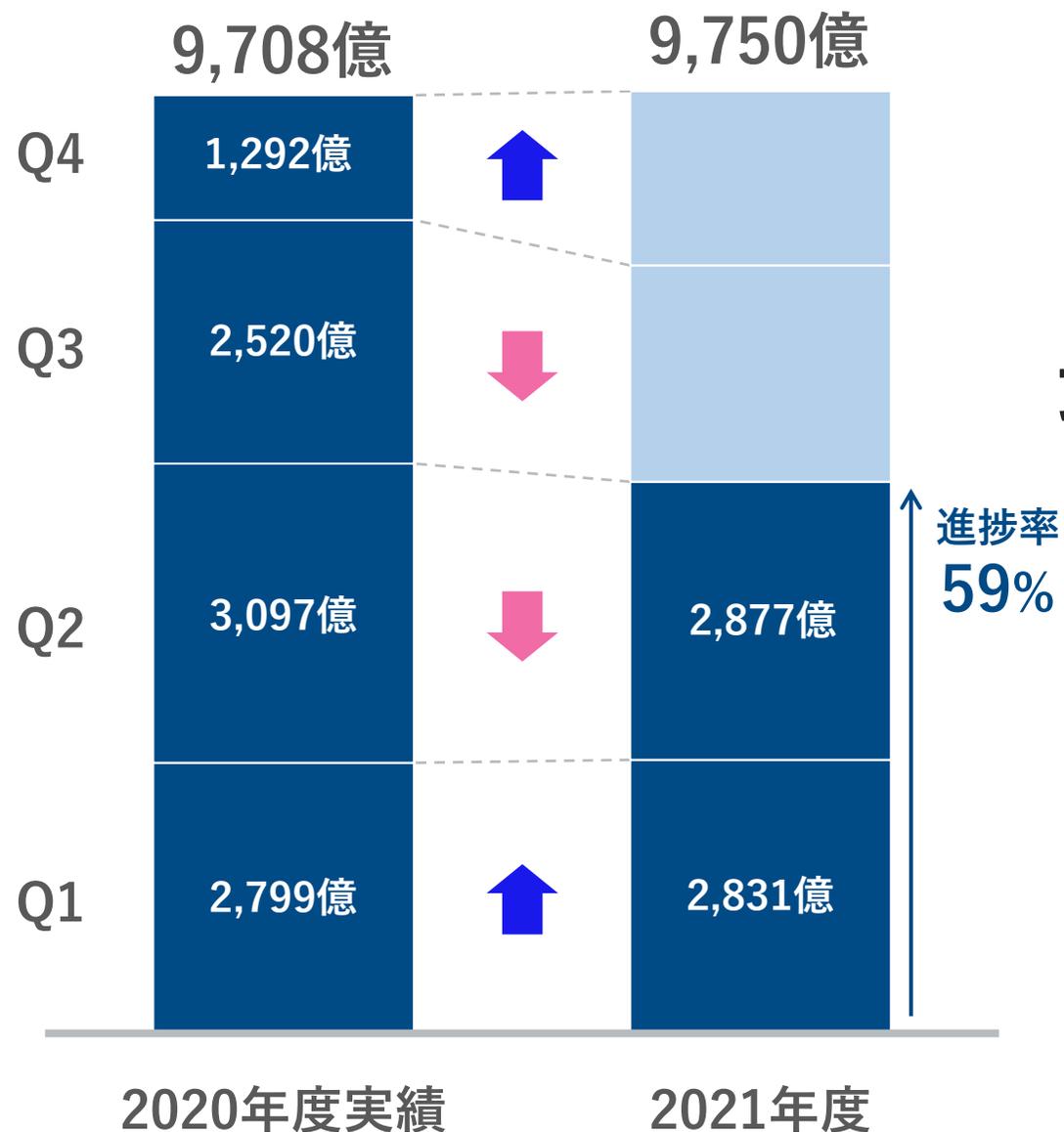
2021年度 セグメント別 営業利益 進捗率

[円]

	2021年度 上期実績	2021年度 通期予想	進捗率
コンシューマ事業	3,647億	6,420億	57%
法人事業	740億	1,280億	58%
流通事業	123億	225億	54%
ヤフー・LINE事業 +その他	1,199億	1,825億	66%
全社計	5,708億	9,750億	59%

営業利益 四半期推移

[円]



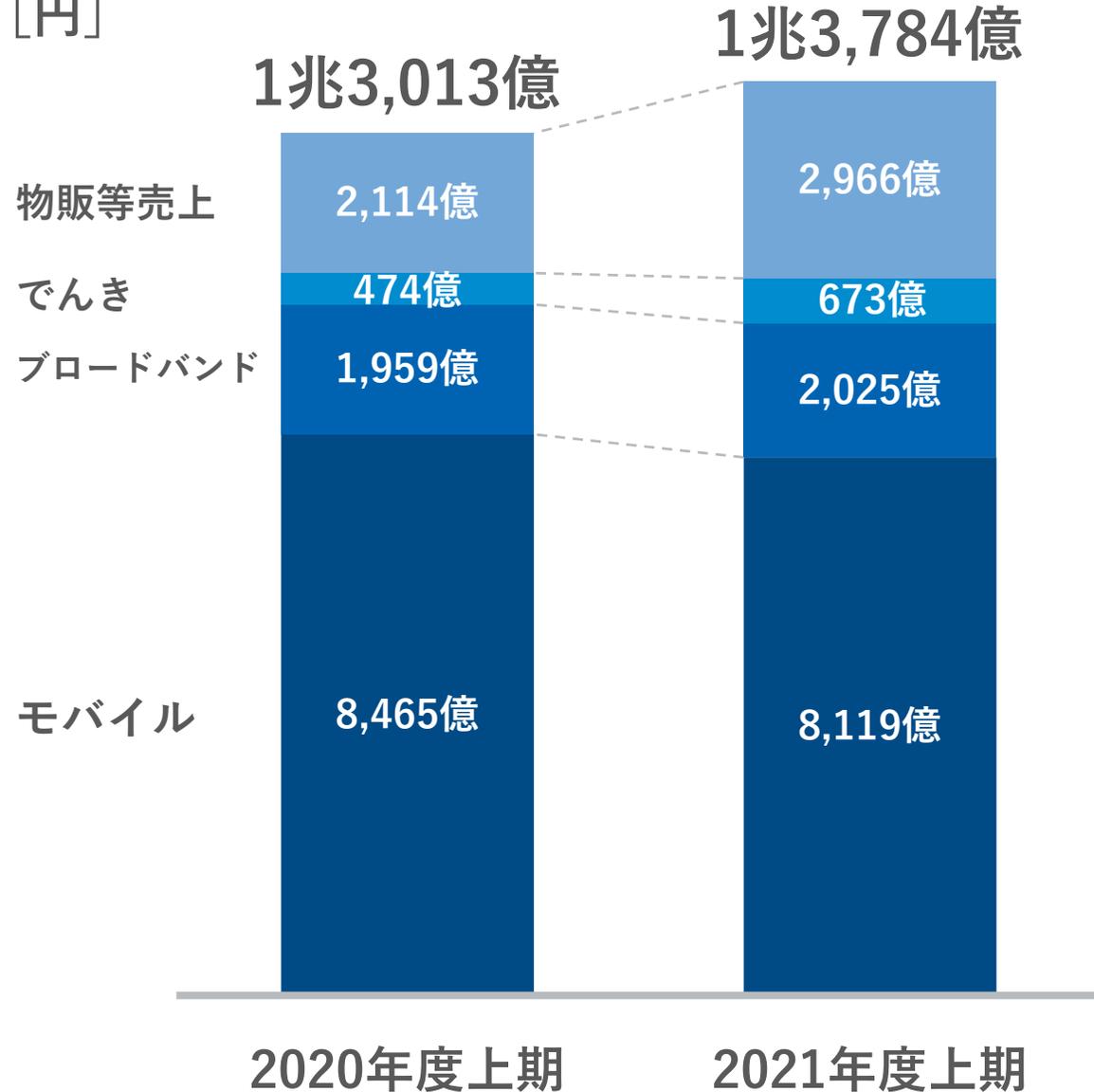
最高益の通期計画に対し
順調に進捗

コンシューマ 事業



コンシューマ事業 売上高

[円]



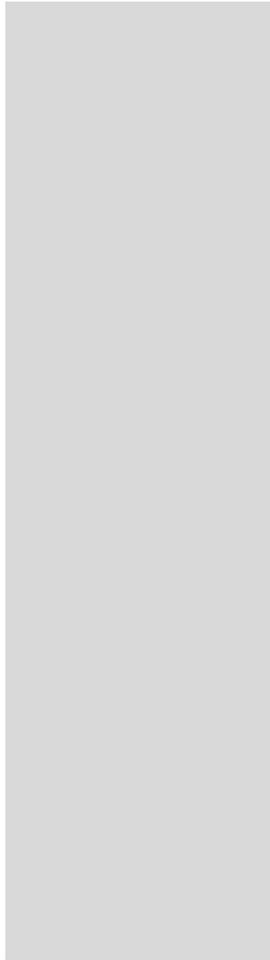
通信料値下げの影響を受けるも
携帯端末の販売回復により

6%増収

コンシューマ事業 営業利益

[円]

4,063億



3,647億



2020年度上期

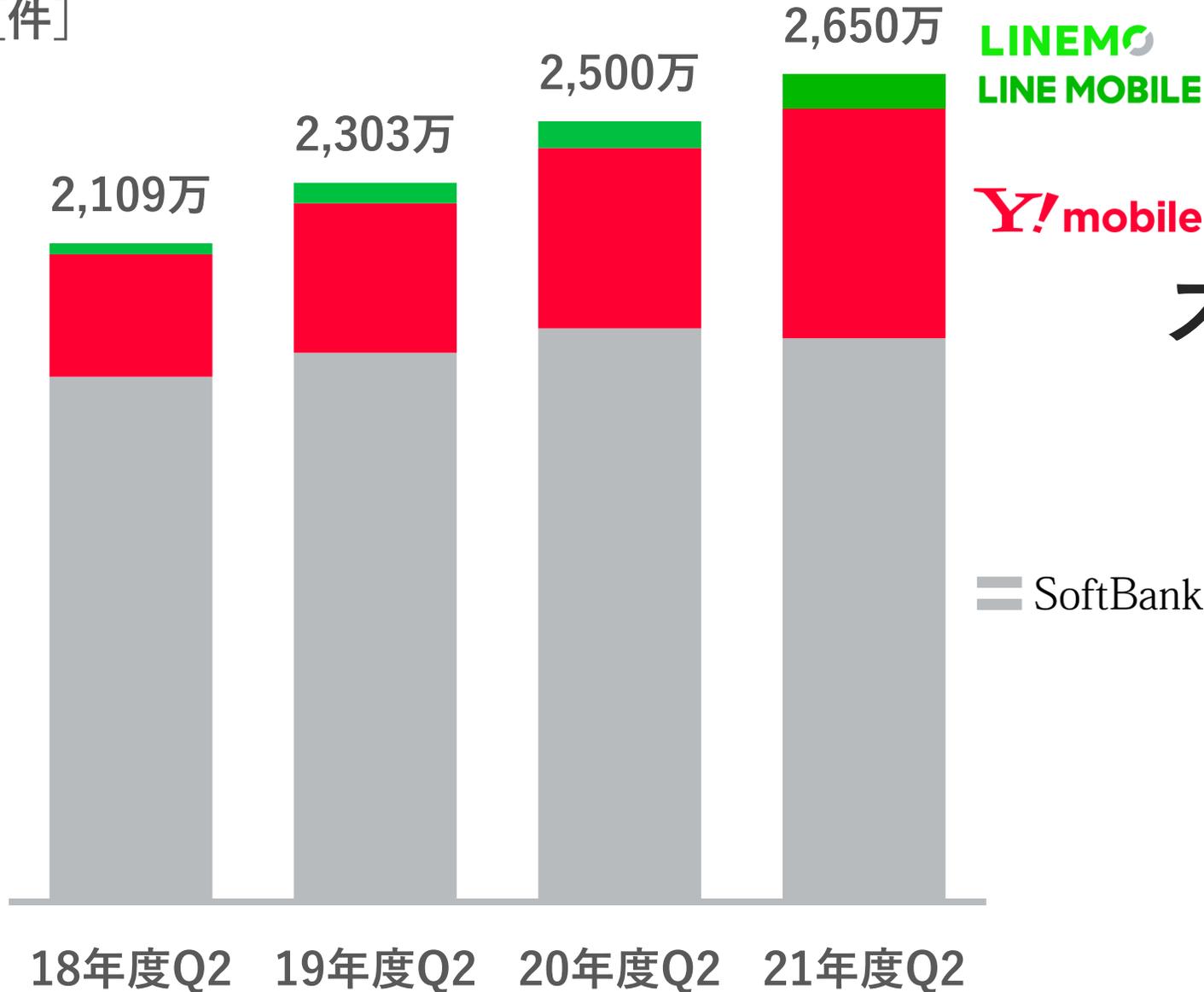
2021年度上期

通信料値下げの影響に加え
昨年は会計上の一過性利益があり
前年比で減益

(注) 2020年度上期において、携帯端末購入サポートプログラムである「半額サポート」にかかる引当金の見積もりの変更により約110億円の売上を計上しました。「半額サポート」は、携帯端末を割賦契約により購入されたお客さまが特定の条件を満たして機種変更を行った場合に、旧端末にかかる残債の最大半額相当の支払いを不要とするプログラムです。

スマートフォン 累計契約数

[件]

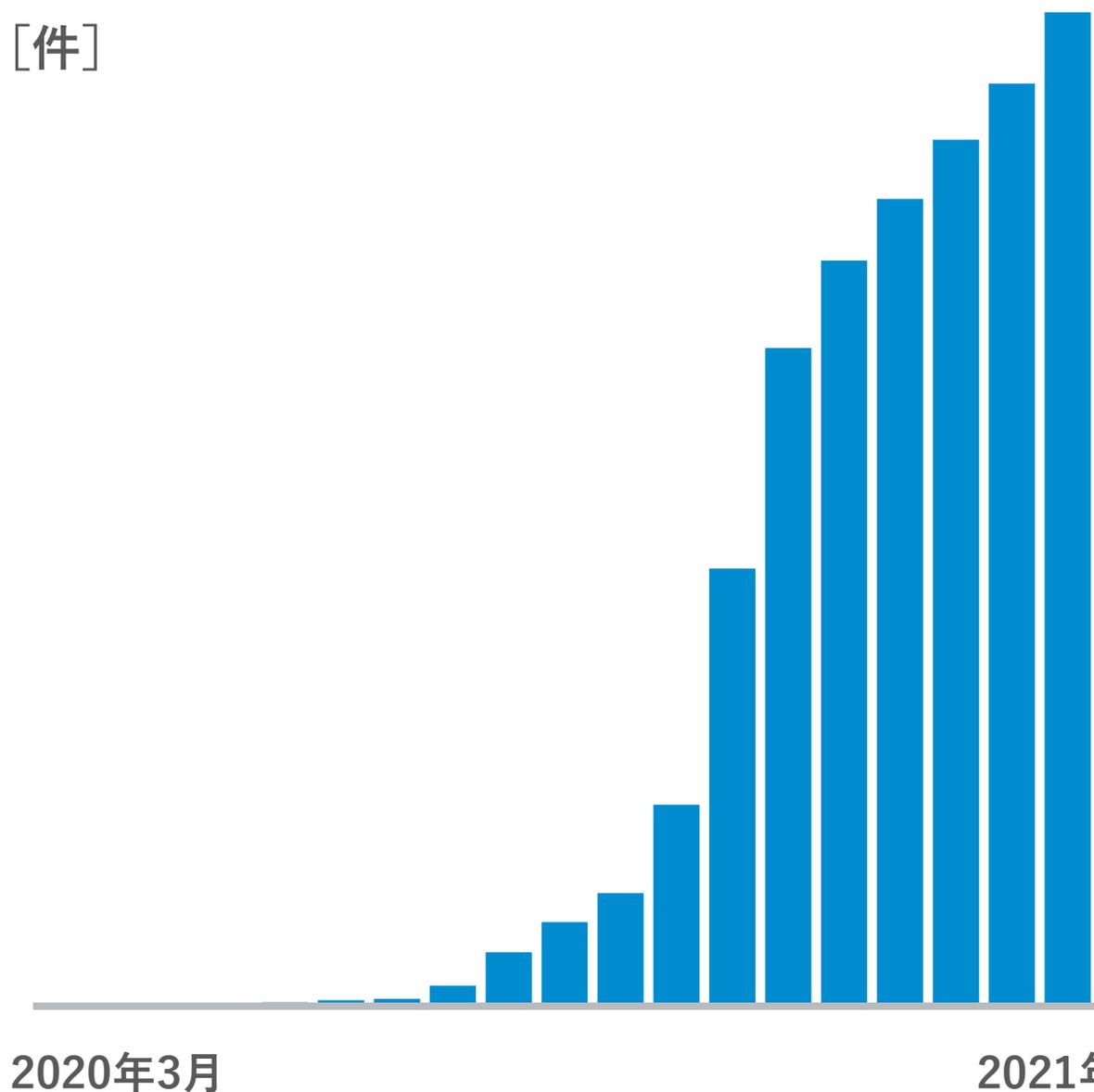


スマートフォン契約数

6%増

5Gプラン累計契約数

[件]



SoftBank Y!mobile LINEMO

5Gプラン契約数

1,000万超

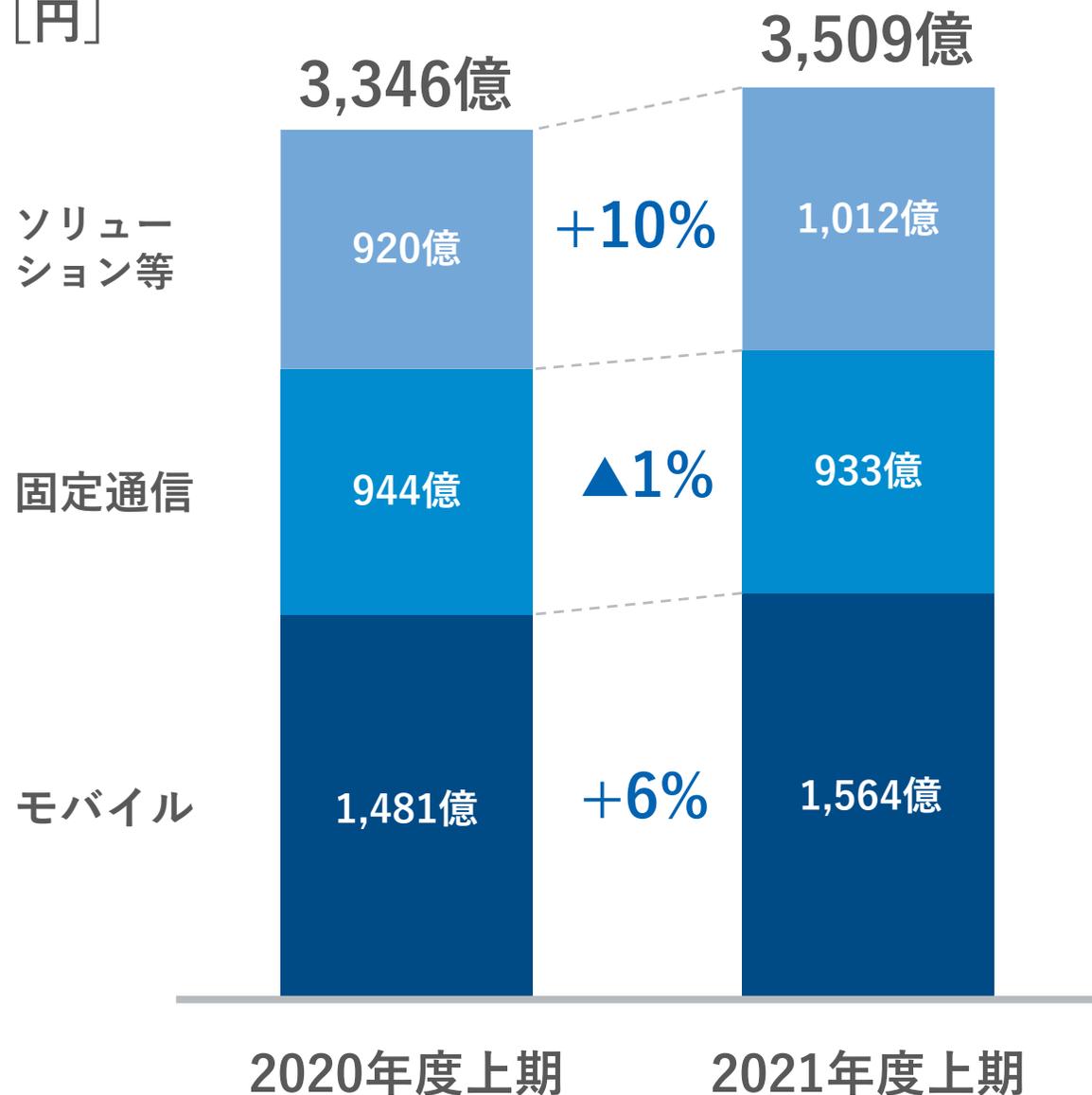
(注) 5Gプラン契約数：全ブランドにおける5G対応プランの累計契約数、5G端末の販売数ではありません。 16

法人事業



法人事業 売上高

[円]

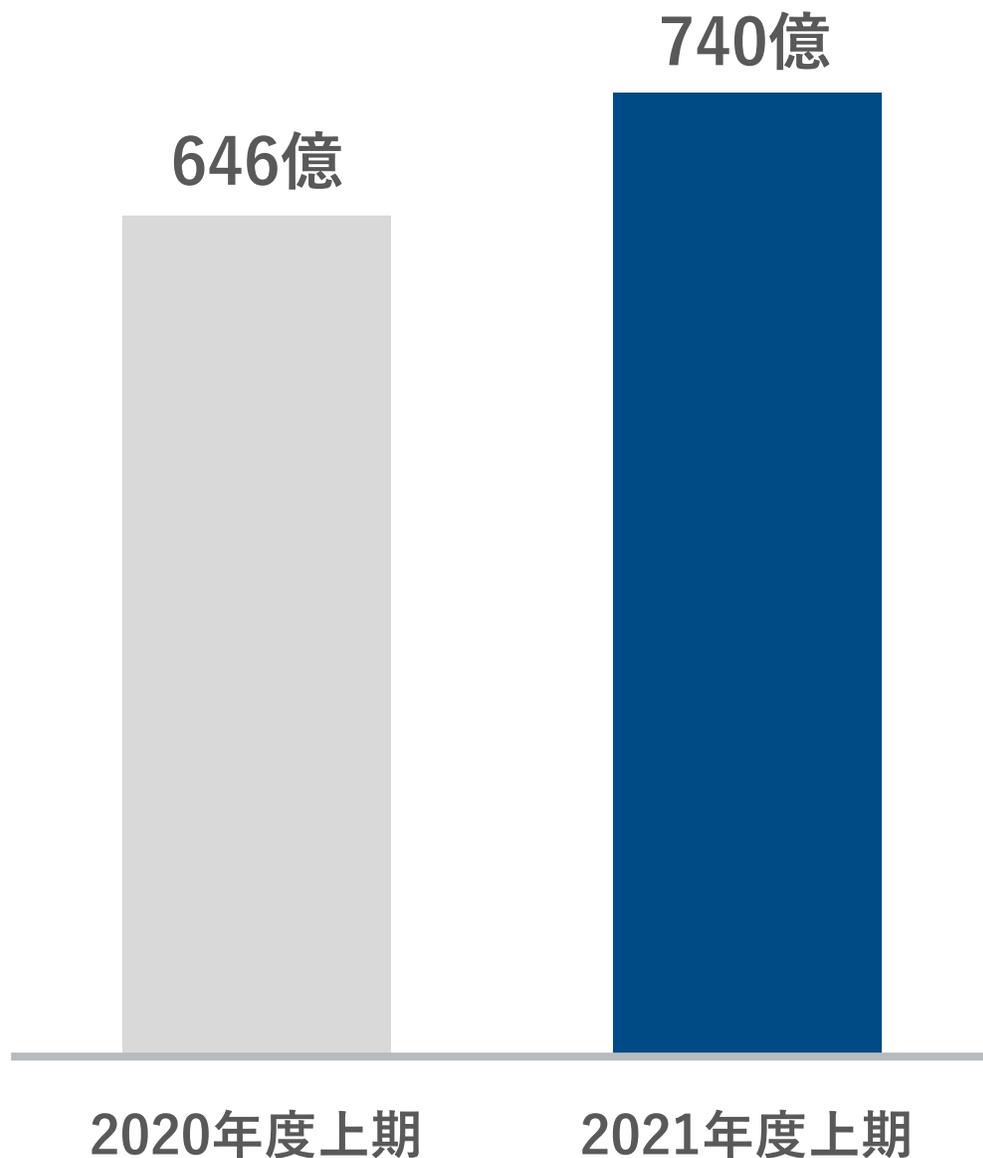


5%増収

ソリューション等が10%増

法人事業 営業利益

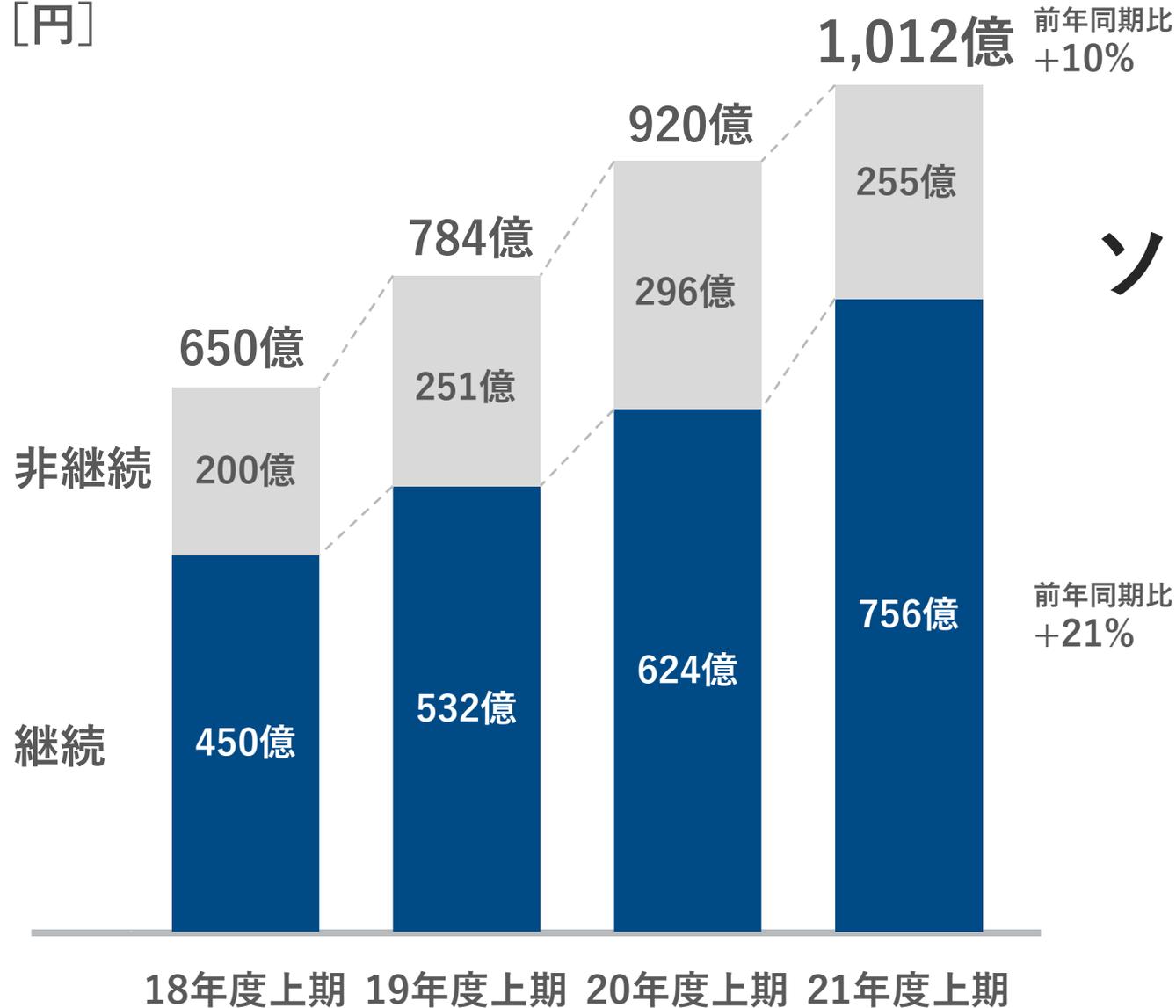
[円]



15%増益

法人事業 ソリューション等 売上高

[円]



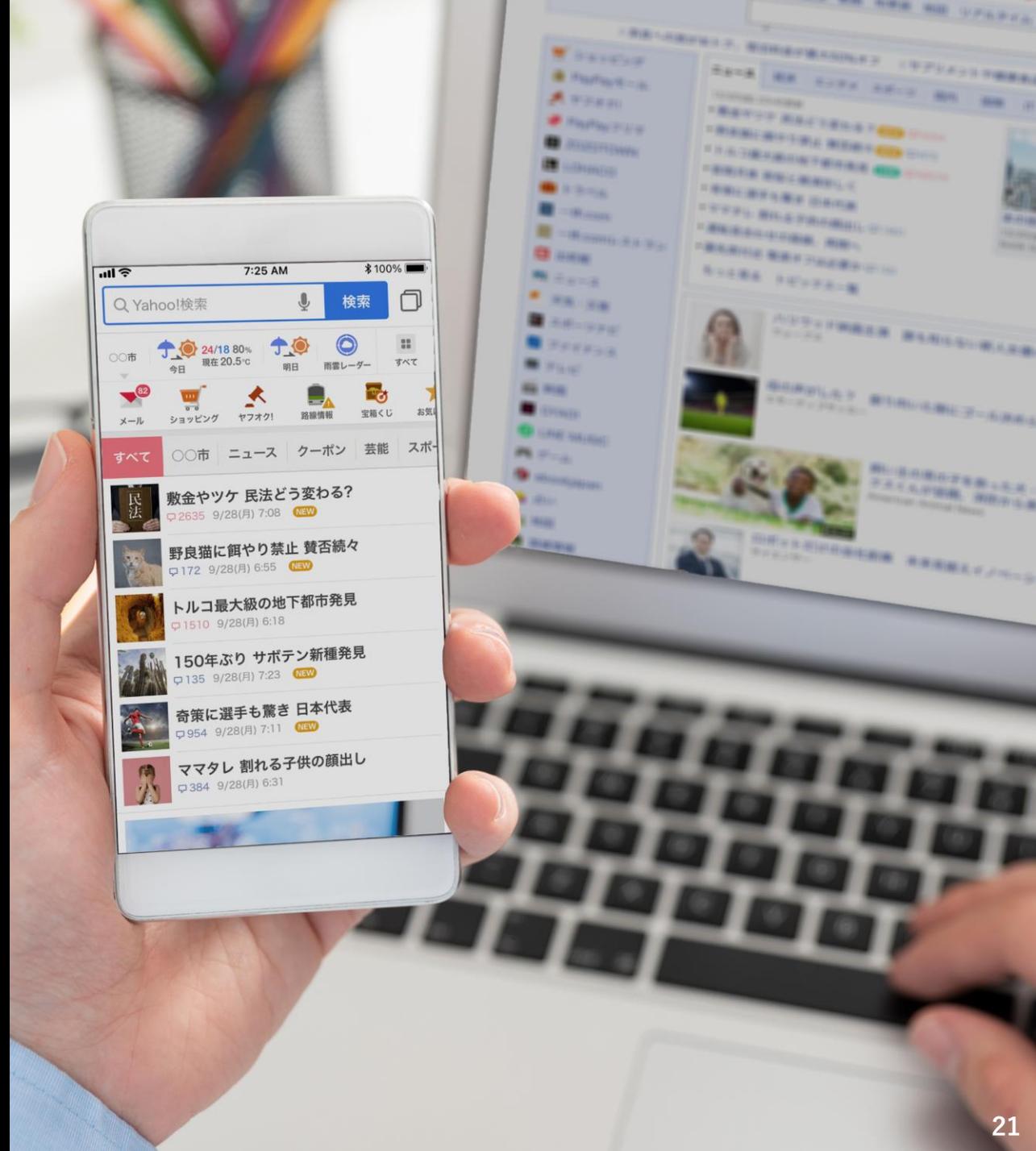
ソリューション等継続収入

21%増

前年同期比
+21%

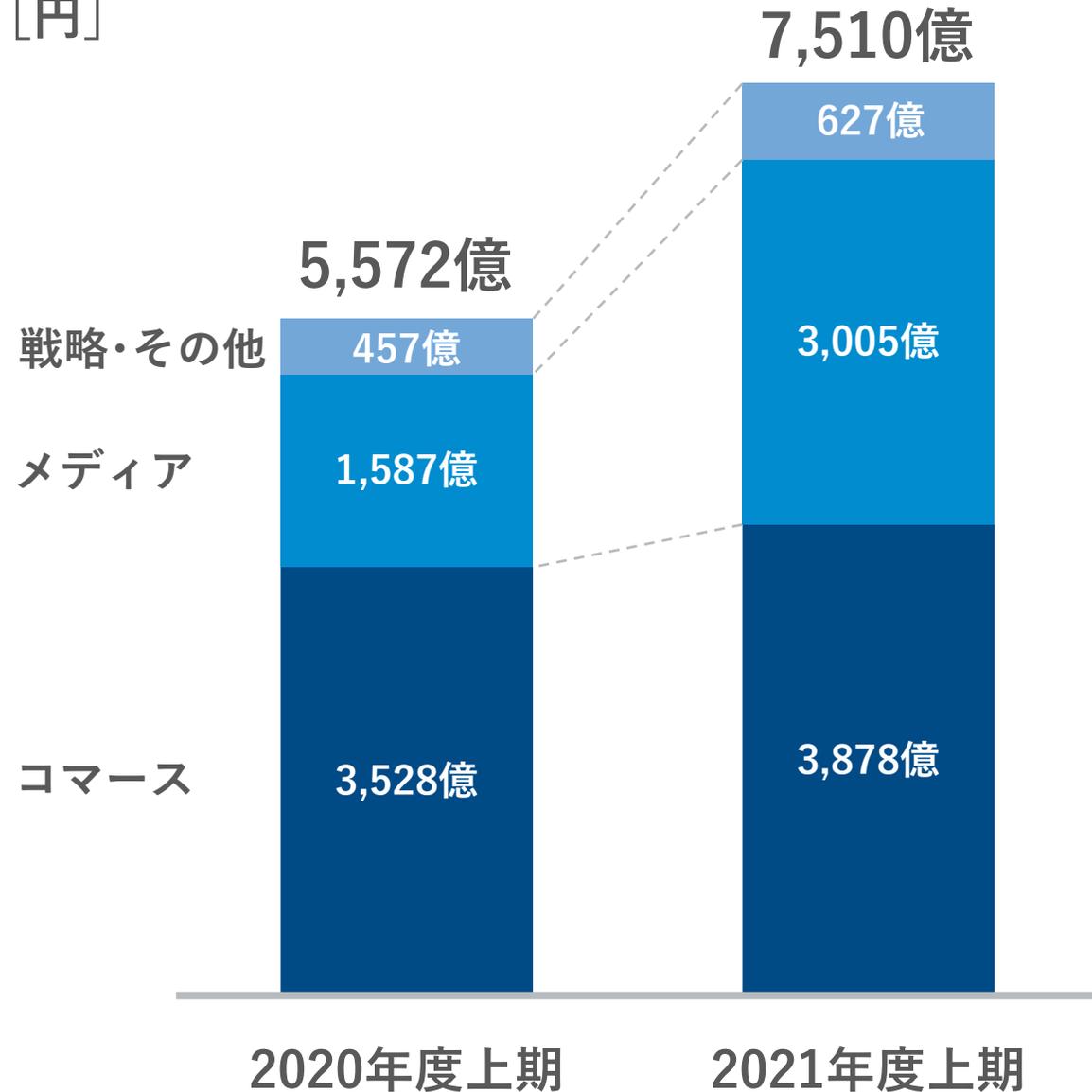
YAHOO! JAPAN

LINE



ヤフー・LINE事業 売上高

[円]

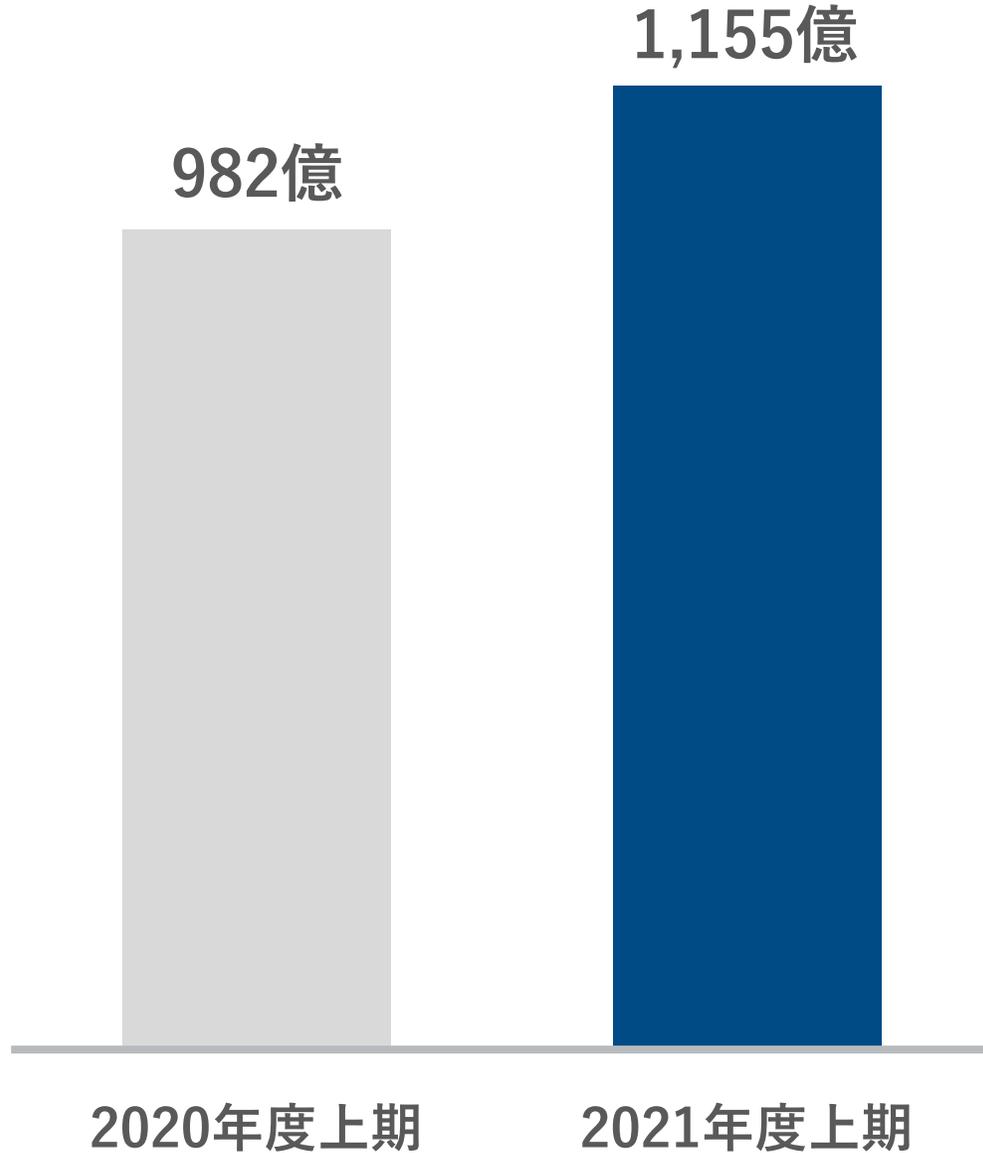


LINEの子会社化および
メディア事業の好調により

35%増収

ヤフー・LINE事業 営業利益

[円]



18%増益

ヤフー・LINE事業 物販eコマース取扱高

[円]

1兆3,768億

1兆2,535億

9,580億

8,947億

物販eコマース取扱高

10%増

18年度上期 19年度上期 20年度上期 21年度上期

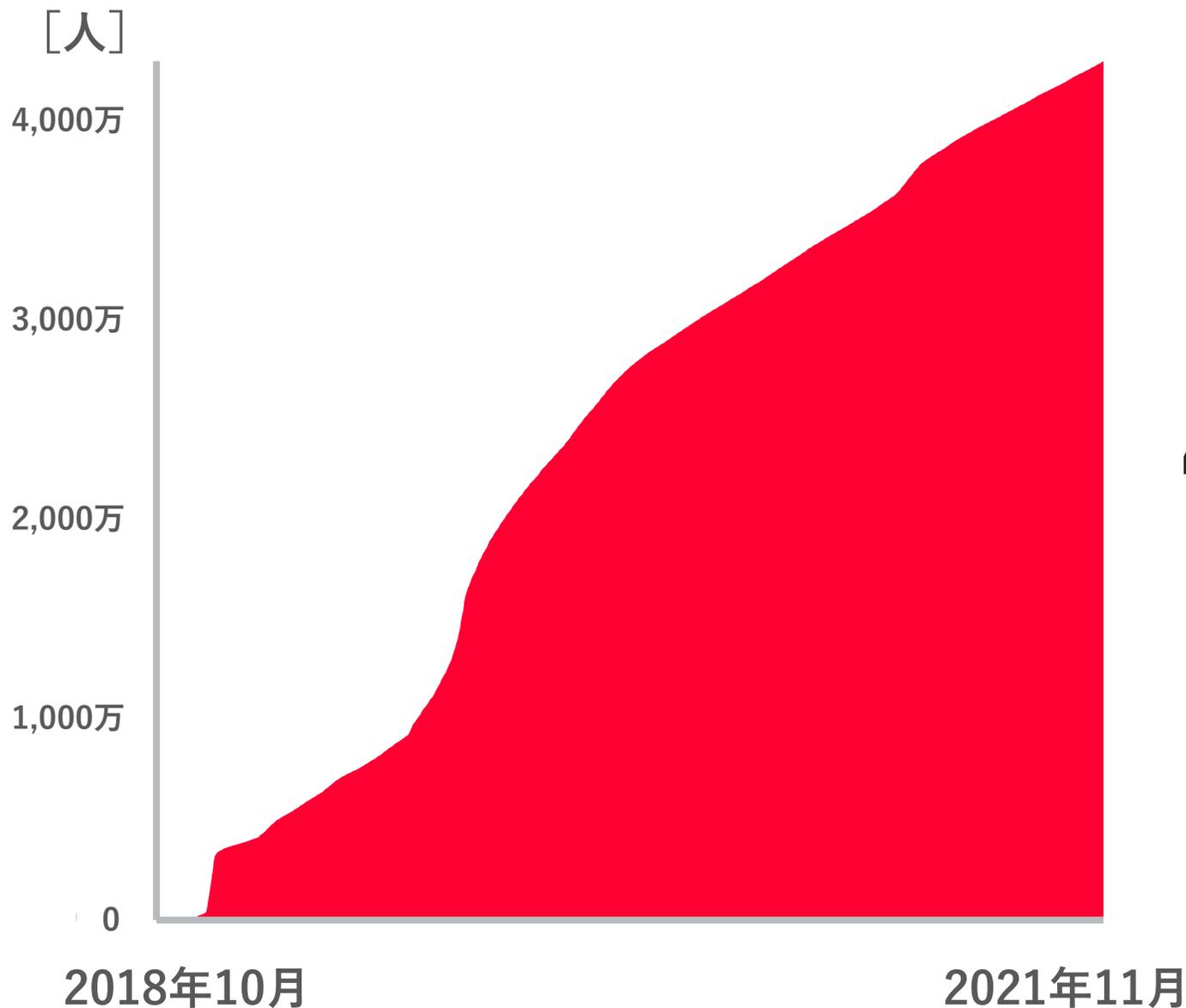
(定義) 物販eコマース取扱高：リユース事業の取扱高、ショッピング事業取扱高、その他(物販)取扱高、アスクル株式会社におけるBtoB事業インターネット経由売上収益(20日締め)を含みます。

(注) Zホールディングス株式会社の開示基準に従い、億円単位で端数の切り捨てを行っています。 24



スマホ決済サービス 「PayPay」

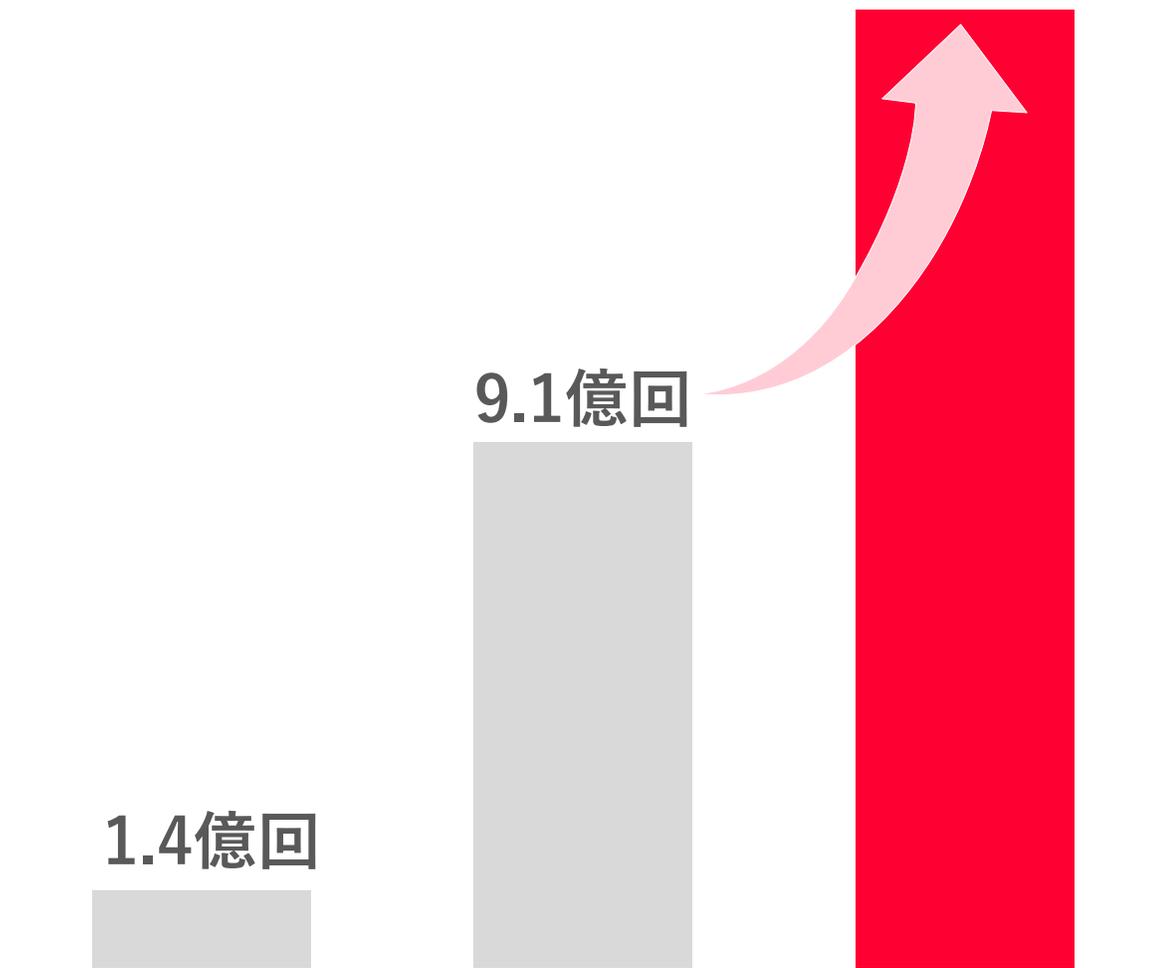
「PayPay」登録ユーザー数 (累計)



ユーザー数
4,300万人超
(2021年11月)

「PayPay」決済回数

16.6億回



決済回数(半期)

16.6億回

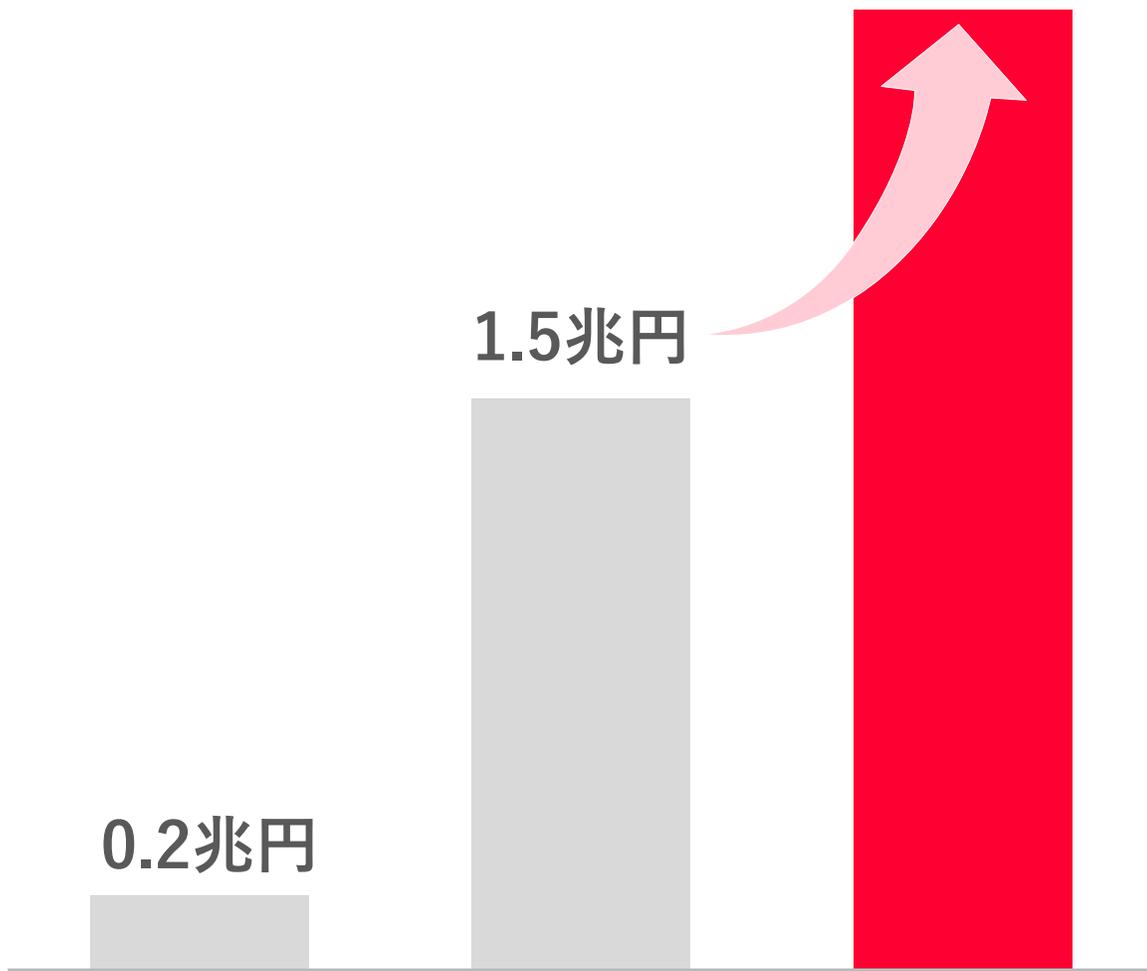
前年同期比 81%増

2019年度上期 2020年度上期 2021年度上期

(出所) PayPay株式会社
(定義) 決済回数：ユーザー間でのPayPay残高の「送る・受け取る」機能の利用回数や
Alipayアプリを利用した決済回数は含みません

「PayPay」決済取扱高 (GMV)

2.4兆円



2019年度上期 2020年度上期 2021年度上期

決済取扱高(半期)

2.4兆円

前年同期比 68%増

2021年10月より中小店舗の決済手数料を有料化

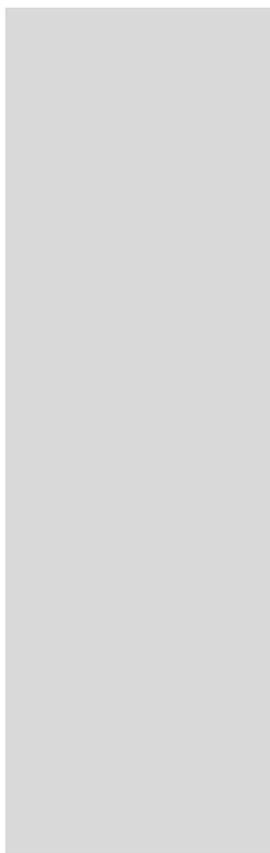
加盟店向けサービス「PayPayマイストア」		
	未加入	加入
決済手数料	1.98%	1.60% キャッシュレス業界最安値水準
プラン利用料	—	月額1,980円/店

(出所) PayPay株式会社 (注) 中小店舗は年商10億円以下の加盟店を指します。キャッシュレス業界最安値水準は日本における各スマートフォン決済事業者および各クレジットカード会社の決済手数料との比較によるものです。クレジットカード会社の手数料は一般社団法人キャッシュレス推進協議会「キャッシュレス決済事業者による中小・小規模事業者向けプラン」にて公表された主要31事業者の標準手数料率(2020年7月1日現在)を、スマートフォン決済事業者の手数料は各社ウェブサイト(2021年8月2日現在)をそれぞれ参考にしています。記載の金額は税別です。

「PayPay」決済手数料

月平均 決済取扱高 (2021年7月-9月平均)

約 4,000 億円/月



約 4 億円/月



総取扱高(全店舗合計)

うち解約店舗

手数料有料化による 業績影響は軽微

決済取扱高に占める
有料化発表後に
解約を行った店舗の割合

0.1%

(注) 解約店舗の月平均取扱高は、2021年10月までに決済手数料の有料化に伴い解約を行った加盟店の2021年7月-9月の月平均取扱高をもとに算出しています。

(出所) PayPay株式会社

「PayPay」加盟店向けサービス

「PayPayマイストア」(月額1,980円/店)

クーポン発行サービスで
集客力UP

データ分析ツールで
店舗運営をデジタル化

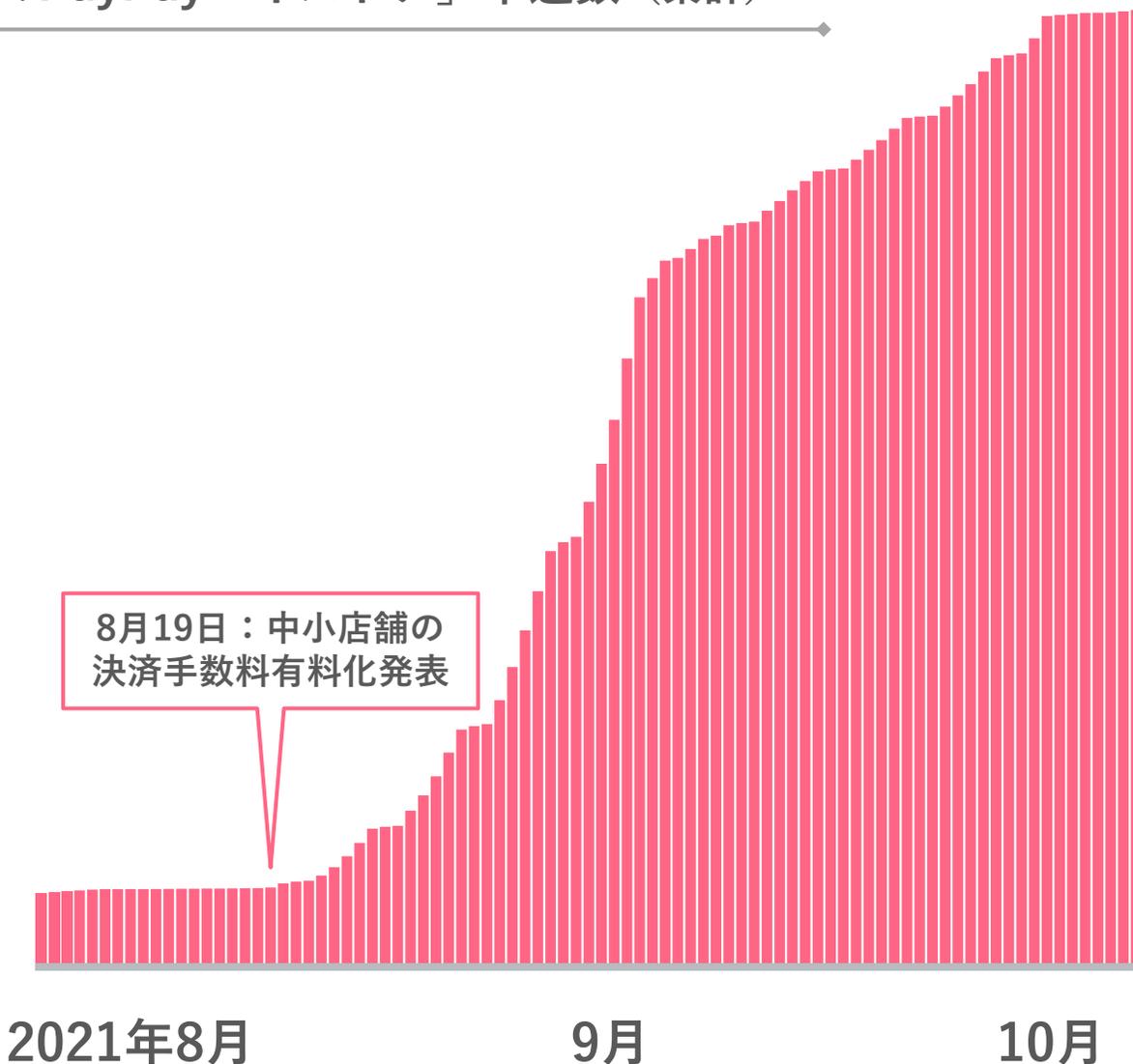


加盟店のDXを 積極支援

(注)「PayPayクーポン」の発行には「PayPayマイストア ライトプラン」(1,980円/月額)への加入が必要です。「PayPayクーポン」を利用した決済取引額を対象に利用料が発生します。ご利用には別途決済システム利用料が必要です。「PayPayクーポン」利用に伴い付与する「PayPayボーナス」原資はご負担いただきます。

「PayPay」加盟店向けサービス

「PayPayマイストア」申込数（累計）



加盟店向けサービス
立ち上がり
順調

Beyond Carrier Beyond Japan

— 企業価値の拡大へ —



Beyond Carrier/Beyond Japan

SoftBank

有力なグループ会社を多数保有

SB C&S

SB Players

YAHOO! JAPAN

MONET
MONET TECHNOLOGIES INC.

LINE

PayPay cybereason

wework

TBCASoft

ZOZO

ada
analytics - data - advertising

J.Score

Demaecan

mapbox

INCUDATA

TREASURE DATA

HT | HEALTHCARE TECHNOLOGIES

IDCFrontier

さとふる

ZIMPERIUM.
ADVANCED MOBILE SECURITY

SB Power

ENCORED

SB Payment Service

ITmedia Inc.

WIRELESS CITY PLANNING

HAPS MOBILE

OYO JAPAN

FINDABILITY SCIENCES

PayPay 証券

休.com

BOLDLY
UPDATE MOBILITY

SB Technology

Open Street

agoop

BBIX
Internet Exchange

JCV
Japan Computer Vision Corp.

PayPay 銀行

DiDi

Odds Park

子会社・関連会社

330社

(注) 子会社・関連会社330社：2021年9月末の
子会社・関連会社数 329社 + Treasure Data Inc.



TREASURE DATA

米トレジャーデータ社に
2億2,250万米ドルを出資

トレジャーデータ

CDPの活用で企業のサイロ化した情報を統合管理

カスタマーデータプラットフォーム

Eコマース



製造



店舗



営業



マーケティング



従来
情報がサイロ化



CDP
データを統合管理



TREASURE DATA

トレジャーデータ

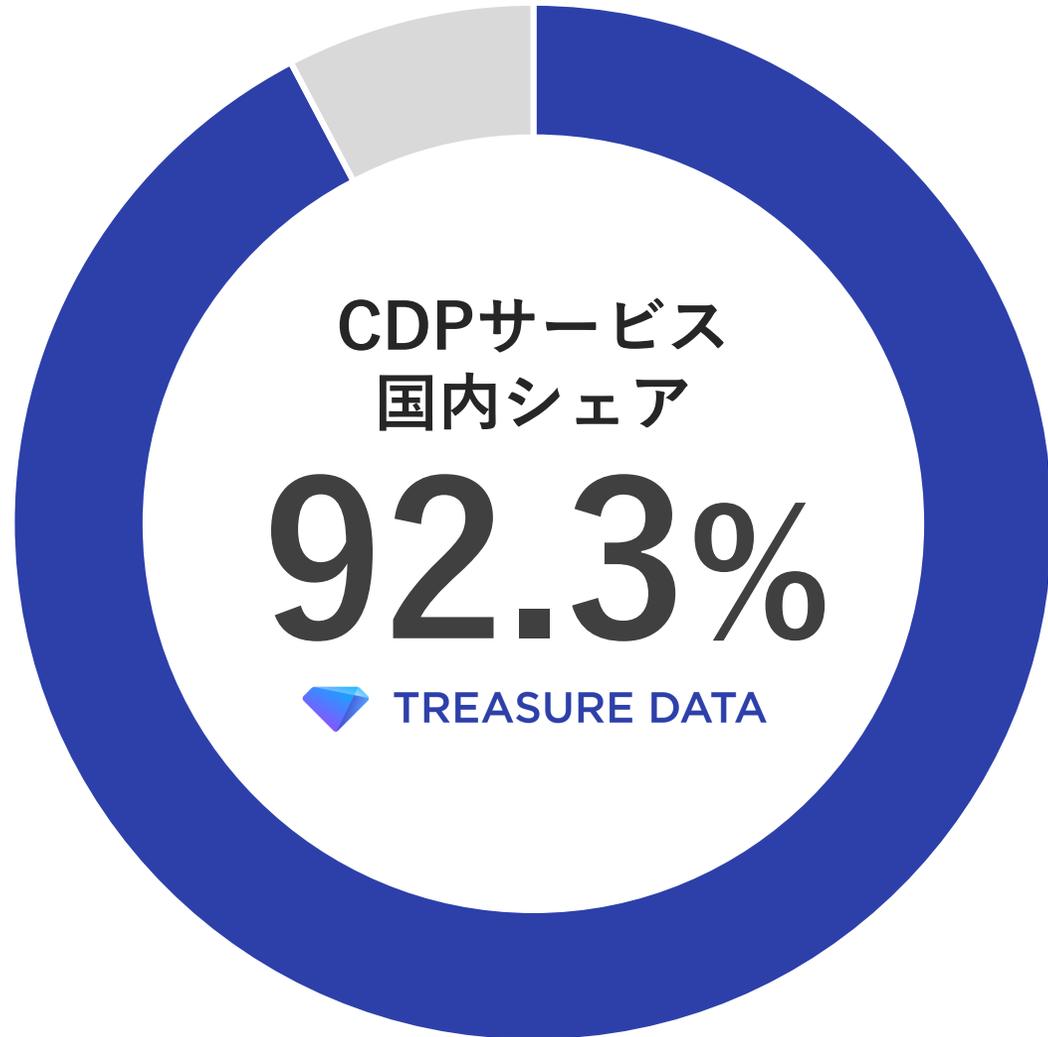
CDPにより企業のデータ活用を飛躍的に促進



トレジャーデータ

国内外400社以上の大企業で導入





データ統合・分析プラットフォームとして

圧倒的な 国内シェア

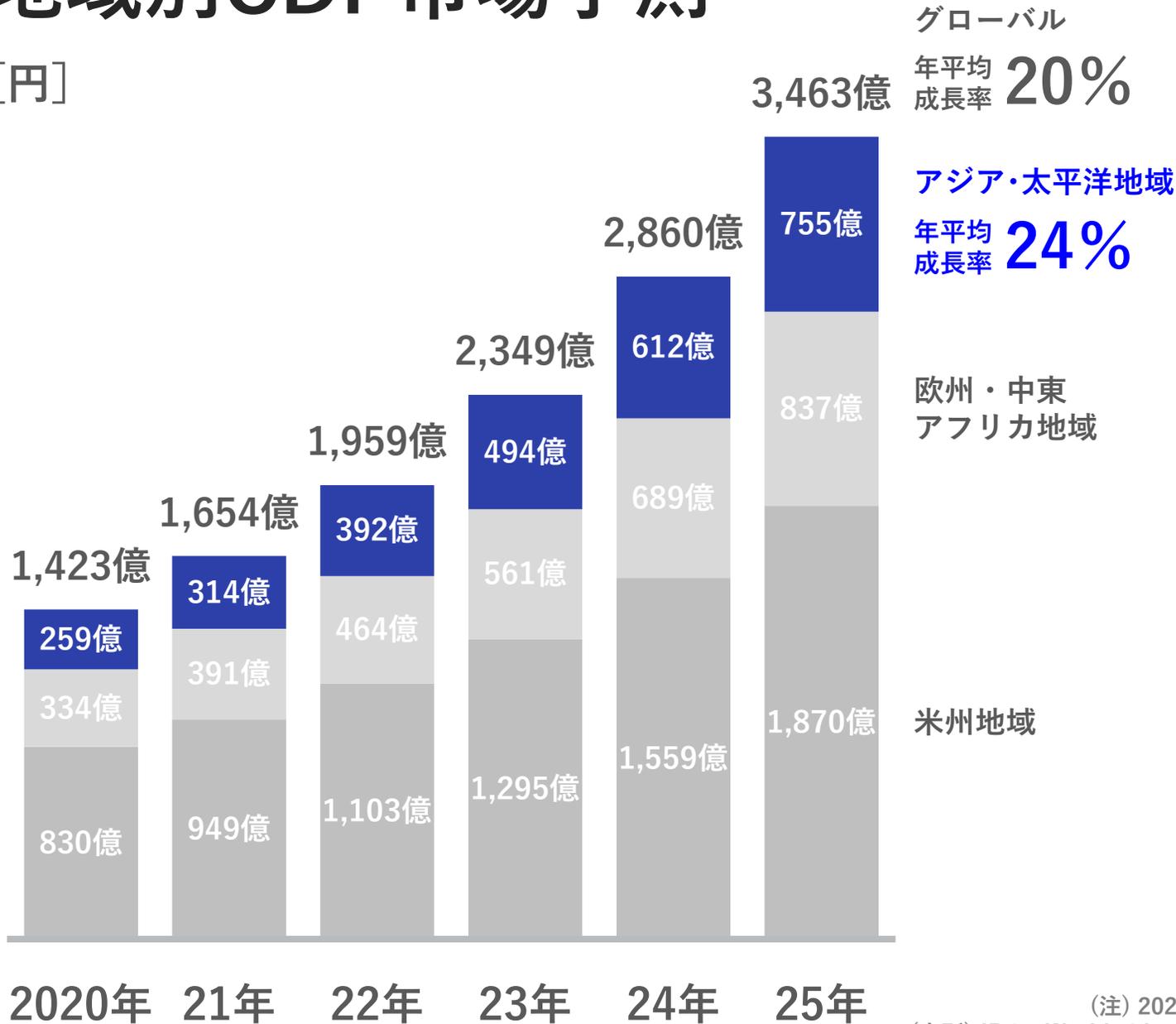
トレジャーデータ

当社グループアセットと高いシナジー



地域別CDP市場予測

[円]



CDP市場は 今後とも成長

(注) 2020年平均為替レート(TTM) 1米ドル=106.82円を基に当社にて算出しました。
(出所) IDC : Worldwide Customer Data Platform Forecast, 2021-2025 : Market to Surge to More than \$3 Billion by 2025 Jul 2021 - Market Forecast - Doc # US48054421 41



axiata

東南アジア最大級の通信グループ アジアタグループと業務提携

(注) 当社はアジアタグループにおいて法人向けビジネスを展開する
Axiata Business Services Sdn Bhdと2021年11月2日に業務提携契約を締結しました。 42

東南アジア最大級の通信グループと業務提携



SoftBank

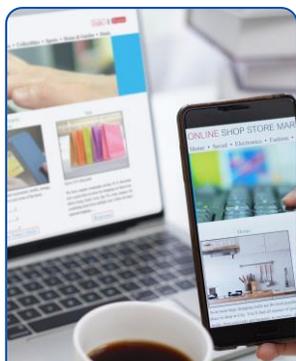
多様なデジタル商材/DXノウハウ



axiata

アジアで1.5億人超の顧客基盤

< 提携予定の領域 >



デジタル
マーケティング



決済



データ



スマートシティ



コミュニ
ケーション

東南アジアの DXを加速



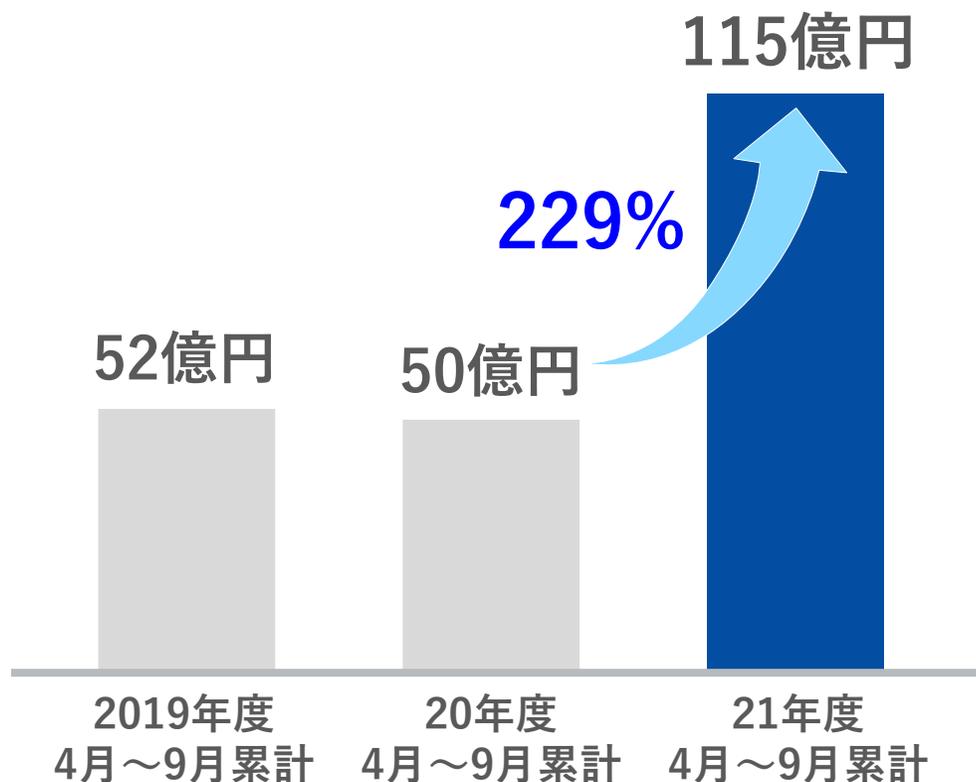
(注) 当社はアジアタグループにおいて法人向けビジネスを展開するAxiata Business Services Sdn Bhdと2021年11月2日に業務提携契約を締結しました。

DXビジネス海外展開

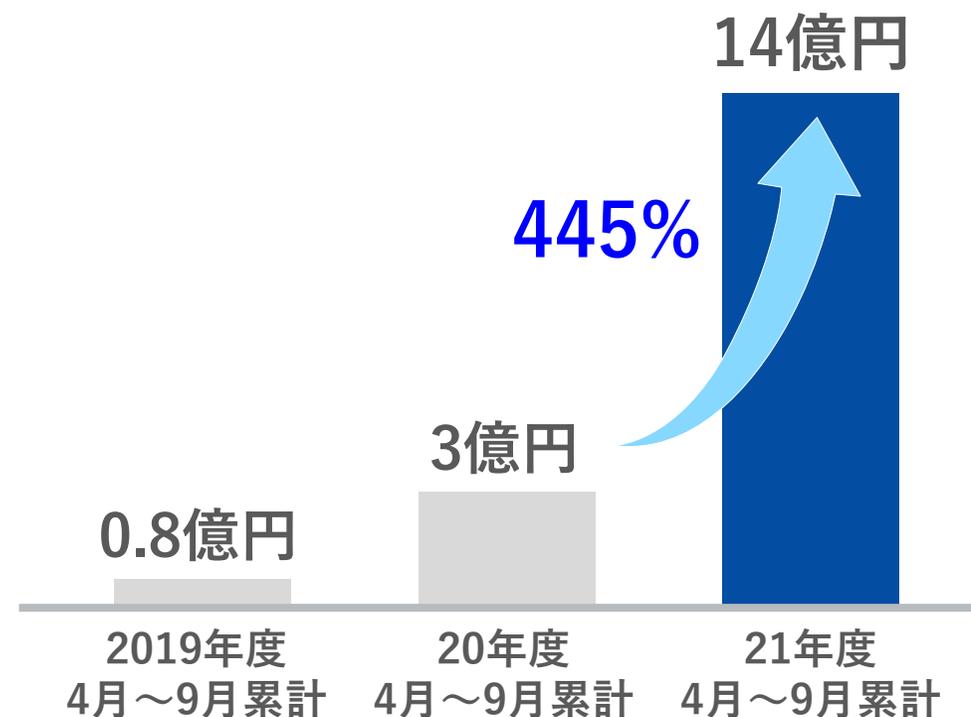
当社が23.1%出資するデータ・AIマーケティング会社 ADAがアジアで順調にビジネスを拡大

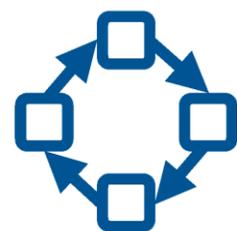
Axiata Digital Advertising Sdn. Bhd.

売上高



EBITDA



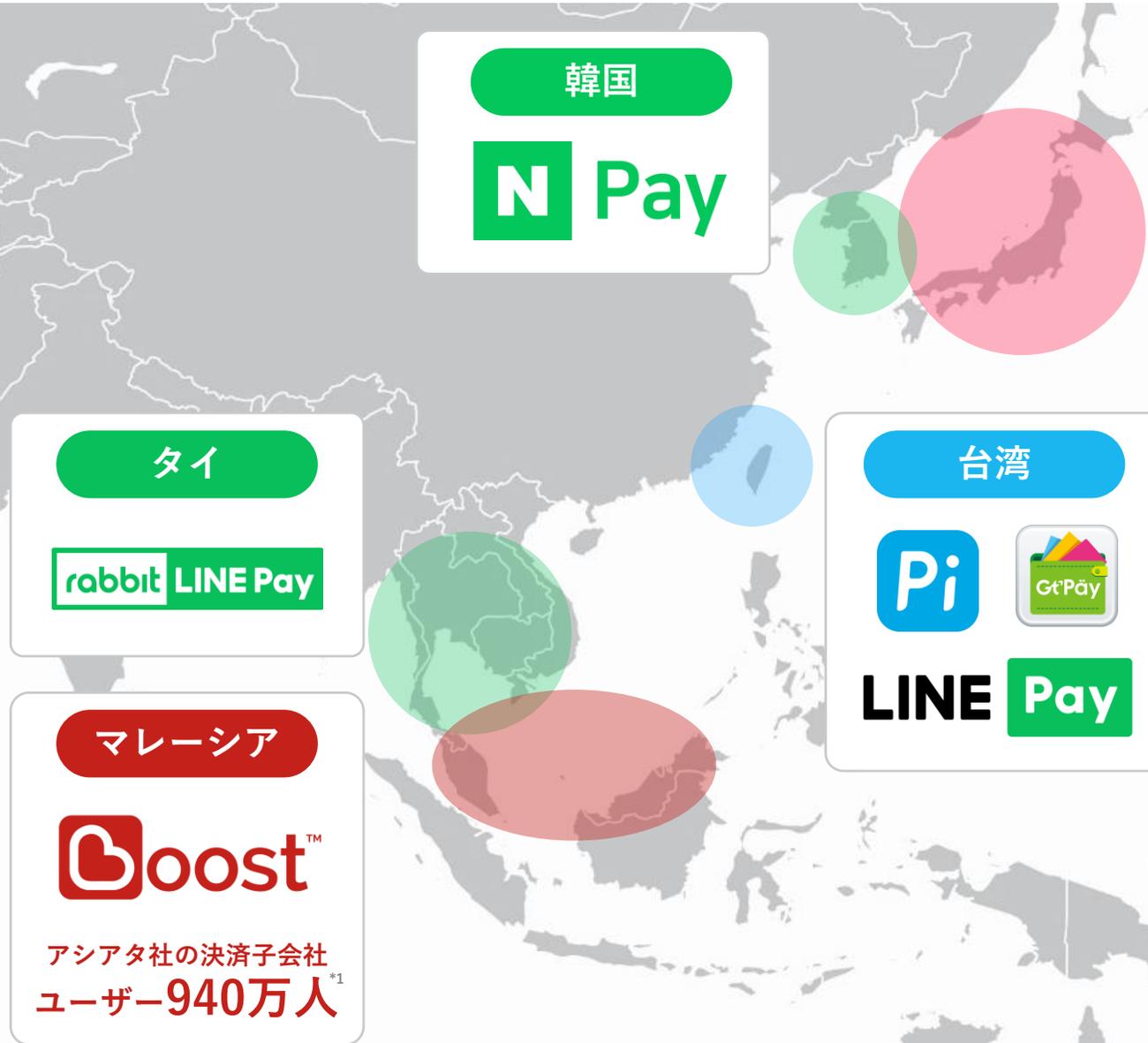


TBCASoft

国際QR決済ネットワークに アジア圏のQR決済事業者が多数参加へ

(注) 国際QR決済ネットワークは、当社の関連会社である米TBCASoft, Inc.が提供するサービスです。PayPayが当該国際QR決済ネットワークに参加するにあたっては、法令上必要な登録等の取得を含めた法令準拠を前提として検討しています。アジアタ社の決済子会社であるBoostは、当該国際QR決済ネットワークにおいて2022年に商用サービスを開始するべく協議中です。また、LINE PayおよびNaver Payは現在、当該国際QR決済ネットワークへの参加に向けて協議中です。

国際QR決済ネットワーク



台湾

Pi G*Pay

LINE Pay

日本

PayPay

韓国

N Pay

タイ

rabbit LINE Pay

マレーシア

Boost™

アジアタ社の決済子会社
ユーザー940万人^{*1}

当社とNAVERが投資したTBCASoft Inc.が提供する
**国際QR決済ネットワーク
の枠組みが加速**



(注) 国際QR決済ネットワークは、当社の関連会社である米TBCASoft, Inc.が提供するサービスです。PayPayが当該国際QR決済ネットワークに参加するにあたっては、法令上必要な登録等の取得を含めた法令準拠を前提として検討しています。アジアタ社の決済子会社であるBoostは、当該国際QR決済ネットワークにおいて2022年に商用サービスを開始するべく協議中です。また、LINE PayおよびNaver Payは現在、当該国際QR決済ネットワークへの参加に向けて協議中です。
(*1) 2021年8月21日時点

まとめ

1

通信料値下げで減益も法人とヤフー・LINEは堅調

2

最高益を目指す通期計画は順調に進捗

3

PayPay 決済手数料有料化後も好調続く

4

企業価値向上に向けた戦略が進展



情報革命で人々を幸せに



SoftBank